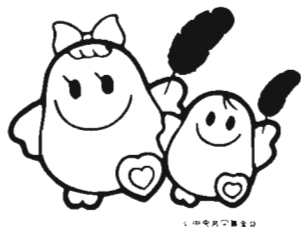


愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

8号

平成19年9月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙1101番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ふれあい・いきいきサロン紹介

八幡浜市社協では、地域の集会場等を利用して高齢者のふれあいや交流の場を設けることで、孤独感を解消するとともに、いきがいつくり・仲間つくりを進めています。19年度は市内の61ヶ所で楽しく開催されています。

今回は白浜地区の山月会の活動の様子を紹介します。



“” みなさん脳の活性化ゲームに必死 “”

「おたっしゃ出前講座」(市・保健センター協力)

大声で笑った瞬間脳に血流が流れ、認知症予防や若返りに大変効果的だそうです。

みなさんも笑って楽しく過ごしましょう。

色々なゲームの貸出もしています。

シャッフルゴルフ・ディスコン・ペタンク・輪投げ・けん玉等

夏休みの思い出 楽しかったよワークキャンプ

夏休みを利用して、8月9・10日にワークキャンプが行われ、今年は市内の中・高校生25名が参加しました。

初めての体験に緊張した様子でしたが、みんな一生懸命で笑顔がすてき！
参加した学生の感想文の一部を紹介しましょう。

○いきいきプチファーム

松柏中 三年

この一泊二日のワークキャンプをして僕はたくさん事を学びました。

まず一つ目は、いきいきプチファームで、ただみんなが遊んでいるのではなくちゃんと働いて、みんなが楽しく仲良く遊んでいることを知りました。

僕は今まで障害者の方たちは、ずっと部屋にこもって、ただじっとしているだけだと思ってました。だけど、みんなが広場に集まって朝はラジオ体操をしていました。それだけでなく、なんとみんなが楽しそうに外に出て、この暑い中、汗を流して働いていたのです。僕はその行動にすごく感動しました。

その仕事で作っているのは、一つだけでなく、二つや三つは



どの班に分かれてたくさん仕事をしていると教えていただきました。その内の一つの班は、園内だけでなく、すごい遠い所まで行って畑を耕しているのです。障害者の人達は、普通の人達より、僕はたくさん働いていると思います。

このワークキャンプで福祉に

ワークキャンプとは、中・高校生を対象に福祉施設での体験活動を通して、障害者・高齢者への理解と関心を高め、ボランティア活動の普及、促進の為に開催。

ついでたくさんを知れて良かった事です。この知った事を、普段の生活等に取り入れたいと思います。

○ワークキャンプで 学んだこと

青石中 二年

私はワークキャンプは二回目の参加でした。昨年と違って一日目がほとんどが講習で、盆踊り大会等に参加しました。二日目は浜っ子共同作業所に行き交流しました。

講習①は、まず、ボランティアについての話を聞きました。私が残っているのは、「新幹線が止まらない駅がかわいそう」と言った男の子の事です。そ



の子は心のきれいな子だなあと思いました。その子の為に普通列車に乗ってあげた仲間も、純粹な心の持ち主の仲間思いの良い子だと思いました。この話を聞いて、私もこれから仲間を大切に行きたいと思いました。講習②では、メンバーで色々なゲームをしたりしました。他校の人達とも話すことが出来たし、同じ青石中の人も更に仲良くなれたような気がしました。講習③では心理テストで、どういうボランティアが自分に合っているか調べてみました。すると、私はグループでやるのが良かったです。皆がいると心強くなるからだと思います。講習④では、実際に車椅子に乗ったり、押し



なってしまうし、押す方も思うように行かなくて大変でした。車椅子関係の人達の苦労がよく分かりました。ベッドを上げ下げしたり、ご飯を食べさせ練習では、意外と色々な細かい所を注意しなければいけないことが分かりました。盆踊りでは、地域の人やことばき荘の人達と一緒に楽しく元気に仲良く踊れました。

二日目の浜っ子共同作業所では、知的障害のある人達と一緒に交流しました。皆、心が広く楽しくて良い人ばかりでした。一緒に掃除をしたり、食事をしたり、カラオケに行ったり、皆ではしゃいで楽しかったです。

これからも、障害を不幸とは思わないようにしたいです。

〇たくさん学べた ワークキャンプ

川之石高校 二年

私は、今年初めてワークキャンプに参加しました。ボランティアに参加したいという思いは強いのですが、部活との日程が合わず行けない時が多くありました。しかし、ワークキャンプの話が学校で聞いて、部活を休んで参加しました。全ての日程が終わった今、ワークキャンプに参加して良かったと思っております。

一日目は、ほとんどが講義でした。車椅子を押して街の中を歩いたり、押してもらった時に感じたことは、普段何も思わなような小さな段差でも車椅子で通るのはとても大変だということでした。車椅子に乗っている人の気持ちを考えられる良い機会だったと思います。この気持ちを忘れずに実際に車椅子を押す時に活かしたいです。盆踊りも皆と楽しく踊ることが出来て良かったです。たこ焼きも大繁盛したのでよかったです、すごく楽しかったです。

二日目は、待ちにまつた施設実習でした。朝は利用者さんとお話をしたり、体操をしたりしました。初めての入浴介助もしま



した。内容はお風呂から出てきた利用者さんの拭き残り等を見つけたら拭いて、着替える順番を言いました。出来ることは利用者さん本人がやるということだったので、やれないことだけ手伝うよう心掛けました。入浴介助の忙しさを目の前で見ることができて、とても貴重な経験になりました。
ソーメン流しも、とても楽しかったです。たくさんの方利用者さんを笑顔にしたいと思いましたが、たくさんの方の笑顔やありがとうの言葉に出会えてうれしかったです。

〇この体験から

八代中 三年

私は、一泊二日という短い時間でたくさんの方の事を学ぶ事が出来ました。

まずは、ボランティアとは何かという事です。詳しく知らないままこのワークキャンプに参加しました。でも一日目の講義等があり、ボランティアのことをとても詳しく知ることが出来ました。講師の先生方はとても優しく、おもしろく、本当に良いひとでした。

二つ目は、人の為に何かをすることの難しさです。人の役に立つには、どんな事も自分から積極的に取り組まなければなりません。今までの自分だったら、どんな事にも積極的に取り組むことができなかったけど、今回の体験を通して、積極的に取り組もうという意識が出来るようになりました。人の役に立つためにはまずは自分から、という気持ちが大切だなと思うようになって良かったです。

この体験を、これからの生活に活かしていけたらいいなと思います。

第2弾 受講生募集 手話奉仕員養成講座

会場 八幡浜市保健福祉総合センター
時間 午前9時30分～午前11時
日程

回	月日	内容
1	9月27日(木)	つたえあってみましょう①開講式
2	10月4日(木)	つたえあってみましょう②
3	11日(木)	自己紹介をしましょう①名前を紹介しましょう
4	18日(木)	自己紹介をしましょう②家族を紹介しましょう
5	25日(木)	自己紹介をしましょう③趣味について話しましょう
6	11月1日(木)	自己紹介をしましょう④数字を使って話しましょう
7	8日(木)	自己紹介をしましょう⑤仕事について話しましょう
8	15日(木)	自己紹介をしましょう⑥あなたの家を紹介しましょう
9	22日(木)	自己紹介をしましょう～まとめ～
10	29日(木)	手話を使って、話してみましょう 閉講式

※都合により、日時・内容を変更することがあります。ご了承下さい。

みごとくに咲いたセンターの花壇



母子会の皆さんが丹精込めて育てています

ボランティアグループ紹介

!!! 地域を元気付けようと新しいグループ誕生!!!

【紹介文】

「八幡浜を元気にしたい」、「ボランティアをしたい」・・・そんな熱い思いを持った若者が集まり活動しているのが「YGP」（八幡浜元気プロジェクト）です。

八幡浜の元気を取り戻すために、以下のような目標・活動を定め、少しずつ行動に移しています。「住民同士の横の繋がり」をつくること、「地域の一体感」に繋がることを信じ、YGP自身がボランティア活動をするのはもちろん、YGPがきっかけとなり、地域活動（ボランティア活動）が地域の中で増えることを目指しています。地域に住民が関わる手段のひとつが「地域活動」であり「ボランティア活動」なのです。

現在、YGPは10代～30代までの約20人、職業もバラバラなメンバーで活動をしています。清掃活動とイベント参加が中心ですが、今後は以下の活動を現実のものにするために、団体の基盤をしっかりと作りながら、準備を進めていきます。

必要なのは「八幡浜を愛する気持ち」です。私たちと一緒に八幡浜のために活動しませんか？お気軽にご連絡下さい。



【連絡先】

- ・メール love_yawatahama@orange.livedoor.com
- ・090-5710-5540（中根）
- ・090-7577-2581（浜田）
- ・ブログ http://blog.livedoor.jp/love_yawatahama/

【目的】

- (1) 八幡浜の清掃・美化・リサイクル活動を推進する
- (2) 既存の祭りを盛り上げ、新しい祭りを創造する
- (3) 高齢者・子ども・障害者を含めた住民を元気にする
- (4) 世代間交流の促進をする
- (5) 地域活動（ボランティア活動）を活性化させる
- (6) 中心商店街を活性化させる
- (7) 第1次産業（地場産業）を復活させる

【活動】

- (1) 市街地・道路沿いを中心とした清掃・美化・リサイクル活動
- (2) 既存の祭り・行事への参加と市民全参加型の祭りの開催
- (3) 高齢者・児童・福祉施設への訪問
- (4) 地域通貨の考案・普及を通して世代間交流を促進
- (5) 「市民活動フェスティバル」（仮称）の開催
- (6) 「旬彩市」に参加すると同時に、商店街と連携したイベント実施
- (7) 「地産地消」の推進、地場産業の復活策の提言・実践



お問い合わせ先

八幡浜市社会福祉協議会(本所) TEL 23-2940 FAX 23-0506
(支所) TEL 36-0262 FAX 36-1173